ターゲットバードゴルフ

バドミントンのシャトルコック(羽根)とゴルフボールを合体させたようなシャトルボールをゴルフクラブで打って、ホールに入れるまでの打数を競います。ゴルフと同じで、ホールに入れるまでの打数が少ない方が勝ち。
羽根付きのプラスチック製ボールのため滞空時間が長く、ゴルフに比べて飛距離が出ないため限られたスペースでのプレーが可能です。ルールも簡単で、初心者でもすぐにプレーできます。地形によって起伏のあるコース、バンカーや障害物のあるコースが設定できるため、変化も楽しめ、ゴルフの練習にもなります。

SRS-JX1N SET
TBGセット
¥49,035 (本体¥46,700)
セッティングホール1、台座1、競技用ボール(12個セット)1、クラブ2、マットDX1
梱包サイズ:100×45×12cm　重量:約5.4kg

ニュースポーツとは、ニュー・コンセプチュアル・スポーツの略称です。
種目としてのニュースポーツは

1. だれもが、いくつからでも、いつまでもできるスポーツです。
2. 競うことよりも楽しむことを主としています。
3. 海外においては歴史があっても、わが国において新しいスポーツです。

使用上のお願い

- 本製品をターゲットバードゴルフ競技以外に使用しないでください。
- ボールの羽根の部分をストロークしないでください。

ルールや講習のお問い合わせ
特定非営利活動法人 フレンドリー情報センター
【本部】〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-12-23 FIC3F
http://www.newsports-21.com
E-mail・friendly@newsports-21.com
TEL・06-6971-9190　FAX・06-6981-7470

商品・用具のお問い合わせ
ニュースポーツメーカー 株式会社 サンラッキー
【遊び方サポートダイヤル】0120-81-4670 (平日9:30～17:00/土・日・祝日休み)
http://www.sunlucky.jp
E-mail・info@sunlucky.jp　FAX・06-6981-6740

羽根付きボールを使ったゴルフゲーム

ターゲットバードゴルフ

ターゲットバードゴルフ概要

用具

ゴルフクラブ(ピッチングウェッジ)
シャトルボール(羽根付きボール)
スタートマット
ホール

[アドバンテージホール]
上部ホールのことで、傘を逆さにして立てた形状
[セカンドホール]
下部ホールのことで、フープ(輪)を地面においたもの

※プレーヤーは、アドバンテージホール並びにセカンドホールに触れてはならない。

場所

コースはゴルフのように、地形の起伏、池、林、バンカー、ウォーターハザードなどを加味して設定。公園やグラウンドでも可。
普通ウェッジコースの場合は

ショートホール	ミドルホール	ロングホール
(パー2、約15m～30m)	(パー3、約30m～50m)	(パー4、約45m～70m)

の3種類を組み合わせ1ラウンドを9ホールまたは18ホールとする。
9ホールの場合、パー27を目安に設定する。
その内訳はパー2が2ホール、パー3が5ホール、パー4が2ホール。
ただし、スペースに応じて何ホールでも構わない。
フェアウェイの幅は3m～6mを原則とする。

人数

1組4人以内の個人戦で、何組でも

競技の進め方

1. 打順はジャンケンなどで決め、スタートの第1打は、スタートマット上にシャトルボールを置いてから始める。
2. 第2打以降、ホールから最も遠いボールの人からプレー(同距離の場合はジャンケンなどで決める)する。
このとき、拾い上げたシャトルボールは15㎝の範囲内でホールに近寄らない方向の別地点に置いて(プレース)打ってもよい。また、羽根の向きを変えてプレースしても構わない。
3. 何回かの打撃でホールインして、そのホールのプレーは終了する。
4. 2ホール目以降は前のホールでスコアの最も少ないプレーヤーから始める。
同じスコアの場合は、前のホールの順番に従う。
5. 勝敗は全ホールの合計打数の少ないプレーヤーが勝ちとなる。
※ボールの識別や、他のプレーヤーの妨害とならないようにするためにボールを拾い上げるときは、マーカーを置いてから行う。

ホールイン

ホールインとは、ボールの羽根部分を除く球体の部分がホールの内側に停止したことをいう。判定はホールの真上から見下ろして行う。
ホールインの判定は、アドバンテージホール、セカンドホールの内側のラインで行う。内側ライン上にボールが停止したときは、ボールの羽根部分を除く球状部分の半分以上がボールの内側にあればホールインとなる。

[アドバンテージホールにホールイン]…ストローク数がスコア
[セカンドホールにホールイン]…………ストローク数プラス1打がスコア

[判定]

1 旗あるいは旗竿、アドバンテージホールの外フレームにボールが停止したときは、アドバンテージホールに入ったものとみなす。Ⓐ Ⓑ

2 ボールがアドバンテージホールの外側ネットに引っかかったときは、セカンドホールに入ったものとみなす。Ⓒ

3 セカンドホールの内側ラインにボールの球状部分が半分以上かかっておればホールインとみなす。Ⓓ Ⓔ Ⓕ

4 セカンドホールにボールの球状部分が半分以上外にあったり、接している場合は、ホールインとはならない。Ⓖ Ⓗ Ⓘ

ストローク

- ボールを正しく打つ意思でクラブを振って空振りした場合、1ストロークと数える。
- ただし、クラブヘッドがボールに触れる前に何かの理由でスイングを中止したときはストロークしなかったものとみなす。
- 押し出したり、かき寄せたり、すくいあげたときは反則で、2打を付加する。
- ストローク中に2回以上ボールに当たったときは合計2打として数える。
- ボールがフェアウェイから出たときは、1打付加し、そのボールを最後にプレーした地点にできるだけ近いOB地点からストロークする。
- OBラインが石灰やロープで表示されているとき、そのラインにボールの球状部分が少しでも触れている場合はセーフとなる。

プレース

プレースとは、ボールを拾い上げ、ルールに従って別の地点に移すことを言う(羽根の向きを変えてもよい)。
プレースを次の方法で行えば反則とならない。また、動物などにボールを持ち去られたときは、
そのボールのあった地点に別のボールを置くことができるが、これもプレースという。

[ショットマットを使用する場合]
ボールの真後ろ、ボールに接するようにショットマットを置き、ボールを拾い上げてマットの最前方に置く。

[ショットマットを使用しない場合]
拾い上げたボールをホールに近寄せない方向に15㎝以内だけ置きかえることができるため、
「元あった地点」にマークしなくてもよいが、拾い上げると位置が不明になる恐れがある場合は、マークして拾い上げる。

エチケットとマナー

- プレーヤーはストロークを行う前に、近く(クラブが当たる可能性のあるところ)に人がいないことを確認してプレーする。
- また、むやみに素振りをしないこと。他の人はプレーヤーに近寄らないようにする。
- プレーヤーがストローク中は、他の人は動いたり、話をしたり、ボールやホールの近くに立ったりしない。
- プレーヤーは前方の人がボールの届く範囲外に進むまでプレーをしてはいけない。
- プレーヤーはホールイン後、速やかにそのホールから離れる。
- 使用するボールに自分の印を付けておき、スタート前に同伴プレーヤーと各自のボールを確認する。

ホール / 名前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計スコア

大会名／　　　　月　　　日　サイン

ホール / 名前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計スコア

大会名／　　　　月　　　日　サイン

※コピーしてお使い下さい。